

令和3年10月8日

南関中学校保護者 様

南関中学校長 永杉 尚久

令和3年度全国学力・学習状況調査結果と学力向上の対策について
爽秋の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度の全国学力・学習状況調査につきましては、小学校6年生と中学校3年生を対象として5月27日に実施致しましたが、本校の調査結果の概要と学力向上の取組等について、下記の通りお知らせ致します。

なお、全国学力・学習状況調査は教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に行われています。学力の一面をはかるものであり、この結果が学力のすべてを表すものではないことをご理解ください。

また、対象は中学3年生ですが、本校ではこの調査結果を3年間の積み重ねを検証するものと捉え、全学年での取組に活かしてまいります。ご家庭の理解と協力をお願いいたします。

ご不明な点やお尋ね等ございましたら、遠慮なく学校へご連絡ください。

記

1 学力検査結果

正答率	国語	数学
南関中	○67	△54
熊本県	64	55
全 国	64.6	57.2

○県・国を上回る △県・国を5ポイント未満下回る

国語・・・全国及び県の正答率を上回った。

数学・・・全国及び県の正答率をわずかに下回った。

※正答率の推移（過去5年間）をみると国語、数学とも上昇の傾向にある。しかし、国語は全体的に国や県を上回ったものの、領域等において課題が見られる。数学においては全体的に国や県との差が縮まりつつあるが依然として正答率は下回る。

【国 語】

○良くできていた項目

（話す・聞く能力）

- ・話し合いに関する事項
- ・文脈の中における語句の意味を理解する
- ・表現されているものの見方、考え方を捉え自分の考えを持つ

(言語についての知識・理解・技能)

- ・相手や場に応じて適切に敬語を使う

●課題のみられた項目

(読む能力)

- ・場面の展開、登場人物の心情や言動を捉え、内容を理解する。

(言語についての知識・理解・技能)

- ・漢字の読み「詳細」

【数 学】

○良くできていた項目

(数量や図形についての知識・理解)

- ・表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る。
- ・錯角が等しくなるための、2直線の位置関係を理解している。

●課題のみられた項目

(数量や図形についての知識・理解)

- ・扇形の中心角と弧の長さや面積との関係を理解している。

(数学的な見方や考え方)

- ・問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。
- ・式を変形したり、意味を読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明することができる。
- ・ある条件の下で、成り立つ図形の性質を見出し、数学的に表現することができる。
- ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

2 意識調査結果・児童質問紙

(全国と比較して高い傾向にあるもの) ※全国より5ポイント以上を抽出

【生活面】

- ・毎日朝食を食べる
- ・毎日同じくらいに寝る
- ・自分で決めたことはやり遂げる
- ・学校に行くのは楽しい
- ・地域の行事に進んで参加した
- ・地域や社会を良くするために何をすべきか考える
- ・学級生活をよくするために、学級活動で話し合い解決方法を決めている。

【学習面】

- ・ICT機器は学習の役に立つと思う
- ・1～2年時の授業は、自分に合った教え方、教材、学習時間であった

- ・総合的な学習の時間では、自分で計画を立てて調べ、発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- ・道徳の時間では、考えを深めたり話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ・国語の授業は大切
- ・国語で学習したことは、将来役に立つ
- ・国語の授業では、言葉についての知識を理解し使っている。
- ・国語の授業では、自分の考えを話したり質問したりしている。
- ・数学の勉強は大切
- ・数学は将来役に立つ
- ・数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている

(全国と比較して低い傾向にあるもの)

【生活面】

- ・携帯、スマホ、パソコンなどの使い方について家庭での約束を守っている
- ・平日に1～3時間ゲームをする（全国と比較して多い）
- ・自分には良いところがある
- ・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する
- ・新型コロナウイルス感染拡大で学校が休校中、規則正しい生活ができた

【学習面】

- ・1、2年生までは課題解決に向けて自分で考え自分で取り組んでいた
- ・授業におけるICT機器の活用
- ・平日の読書の時間（10分以上読む生徒が少ない）
- ・数学の勉強は好き
- ・数学の授業はよく分かる
- ・数学で難しいときにあきらめない
- ・数学で学んだことを、生活に活かすよう考える・数学で、公式や決まりを習うときそのわけを考える
- ・新型コロナウイルス感染拡大で学校が休校中、計画的な学習ができた

(前年度までの課題で改善のみられるもの)

- ・毎日同じくらいに寝る
- ・将来の夢や目標を持つ
- ・最後までやり遂げてうれしかった経験
- ・地域や社会を良くするために何をすべきか考える

(前年度より引き続き課題のあるもの)

- ・自分によいところがある（全国と比較すると低いが、前年度よりはアップ）
- ・平日の読書の時間

3 対策

《学校で取り組むこと》

- 「身に付けさせたい資質・能力」を再確認し、繰り返し意識付けを図る。
- 夢につながる成功体験を家庭と連携して味わわせ、適切に賞賛する。
- 1分間スピーチに自分を語ったり、新聞等を活用したりするなど内容の工夫を図るとともに、相互評価等を行いながら相互理解や自己肯定感を高める。
- キャリアパスポートを活用し、生徒に自分の成長を確認させる。
- ICTを活用した主体的、対話的、協働的な学びの実現に向けて校内研修で焦点を当てて授業改善に取り組む。全ての教科・領域の授業の中で進めていく。
- 授業での生徒の発言を大切にし、返しの言葉や感想、賛否の意思を出し合う授業づくりを進めていく。
- 読書習慣の形成に向け、学級活動や教科指導の中で意図的に読書を位置づけ、図書担当や司書と連携して読書環境の充実を図る。
- 生徒会、学級での係、グループ活動を活性化し、生徒の主体性を伸ばす。

《ご家庭において取り組んでいただきたいこと》

- ① 家庭でのスマホ、携帯の使用ルールを確認し意識付けを図る。
- ② 家族との触れ合いを通して、成功体験や自尊感情の育成を図る。
 - ・学校での話を聞く
 - ・夢や進路への相談にのる
 - ・子どもの挑戦への励まし等